

北九州PCB廃棄物処理施設の環境モニタリング結果について

平成 26 年 1 月 21 日

日本環境安全事業株式会社

日本環境安全事業株式会社は、ポリ塩化ビフェニル(以下、PCB)廃棄物処理事業の実施により、周辺の生活環境に影響を及ぼしていないことを確認するために、環境測定を実施しています。

<周辺環境>

1. 大 気

- ① PCB 基準(0.0005mg/m³以下)に適合していた。
- ② ダイオキシン類 基準(0.6 pg-TEQ/m³以下)に適合していた。
- ③ ベンゼン 平成25年8月1～2日に測定したベンゼン濃度の測定値が0.055 mg/m³となり、環境保全目標値0.012mg/m³を超過したが、当事業所が原因ではない。(資料1-3 参考資料にて詳細説明)

調査 時期	試料採取日	PCB (mg/m ³)	ダイオキシン類 (pg-TEQ/m ³)	ベンゼン (mg/m ³)
24 年度	春季 5/16-5/23 ベンゼン:5/16-5/17	0.00020 × 10 ⁻³	0.070	0.0089
	夏季 8/15-8/22 ベンゼン:8/15-8/16	0.000094 × 10 ⁻³	0.022	0.0024
	秋季 11/1-11/8 ベンゼン:11/1-11/2	0.00013 × 10 ⁻³	0.042	0.0018
	冬季 2/5-2/12 ベンゼン:2/5-2/6	0.00019 × 10 ⁻³	0.043	0.0022
	年平均値	0.00015 × 10 ⁻³	0.044	0.0038
25 年度	春季 5/23-5/30 ベンゼン:5/23-5/24	0.00012 × 10 ⁻³	0.031	0.0053
	夏季 8/1-8/8 ベンゼン:8/1-8/2	0.00010 × 10 ⁻³	0.045	0.055
	秋季 11/14-11/21 ベンゼン:11/14-11/15	0.000075 × 10 ⁻³	0.020	0.0094
	年平均値	0.000098 × 10 ⁻³	0.032	0.023
基準		0.0005 ^{※1}	0.6 ^{※2}	0.012 ^{※2}

※1 「PCBを焼却する場合における排出ガス中のPCB暫定排出許容限界について

(S47.12.22、環境庁大気保全局長通知)」で示される環境中のPCB濃度

※2 工業専用地域については、環境基準は設定されていないため、北九州PCB廃棄物処理施設(1期)に係る生活環境影響調査の結果より、当社が環境保全目標値として定めた値

2. 水 質(周辺海域)

- ① PCB 環境基準(検出されないこと)に適合していた。
 ② ダイオキシン類 環境基準(1pg-TEQ/L以下)に適合していた。

調査 時期	試料採取日	PCB (mg/L)	ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)
24 年度	春季 平成24年5月23日	不検出 ^{※1}	0.066
	夏季 平成24年8月20日	不検出 ^{※1}	0.068
	秋季 平成24年11月7日	不検出 ^{※1}	0.11
	冬季 平成25年2月12日	不検出 ^{※1}	0.067
25 年度	春季 平成25年5月27日	不検出 ^{※1}	0.081
	夏季 平成25年8月9日	不検出 ^{※1}	0.074
	秋季 平成25年11月5日	不検出 ^{※1}	0.10
環境基準		検出されないこと	1以下

※1 定量下限値は0.0005mg/L

3. 地 下 水

- ① PCB 平成26年2月実施予定
 ② ダイオキシン類 平成26年2月実施予定

調査 時期	試料採取日	PCB (mg/L)	ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)
24年度	平成25年2月12日	不検出 ^{※1}	0.063
25年度	平成26年2月実施を予定	—————	—————
環境基準		検出されないこと	1以下

※1 定量下限値は0.0005mg/L

4. 土 壌

- ① PCB 平成26年2月実施予定
 ② ダイオキシン類 平成26年2月実施予定

調査 時期	試料採取日	PCB(溶出試験) (mg/L)	ダイオキシン類 (pg-TEQ/g・dry)
24年度	平成25年2月12日	不検出 ^{※1}	0.029
25年度	平成26年2月実施を予定	—————	—————
環境基準		検出されないこと	1000以下

※1 定量下限値は0.0005mg/L

5. 底 質

- ① PCB 平成26年2月実施予定
② ダイオキシン類 平成26年2月実施予定

調査 時期	試料採取日	PCB(溶出試験) (mg/L)	PCB(成分試験) (mg/kg・dry)	ダイオキシン類 (pg-TEQ/g・dry)
24年度	平成25年2月12日	不検出 ^{※1}	不検出 ^{※3}	3.2
25年度	平成26年2月実施を予定	—————	—————	—————
環境基準等			10未満 ^{※2}	150以下

※1 定量下限値は0.0005mg/L

※2 「底質の暫定除去基準(S50.10.28、環境庁水質保全局長通知)」で定める暫定除去基準値
(10mg/kg・dry以上)に該当しないもの

※3 定量下限値は0.05mg/kg・dry

6. 生 物

生物試料名 カメノテ

- ① PCB 基準は設定されていない。
② ダイオキシン類 基準は設定されていない。

平成25年度は、ムラサキイガイ又はカメノテを試料として、平成26年2月実施予定。

調査 時期	試料採取日	PCB (pg/g・wet)	ダイオキシン類 (pg-TEQ/g・wet)
24年度	平成25年2月12日	11,000	0.48
25年度	平成26年2月実施を予定	—————	—————

<排出源>

1. 排 気

- ① PCB 協定値(0.01mg/Nm³以下)^{※1}に適合していた。
- ② ダイオキシン類 協定値(0.1ng-TEQ/Nm³以下)^{※1}に適合していた。
- ③ ベンゼン 基準(50mg/Nm³)^{※2}に適合していた。
- ④ 硫黄酸化物 協定値(K値=1以下:1時間平均)^{※1}に適合していた。
- ⑤ 窒素酸化物 協定値(230ppm以下:1時間平均)^{※1}に適合していた。
- ⑥ 塩化水素 協定値(250ppm以下:1時間平均)^{※1}に適合していた。
- ⑦ ばいじん 協定値(0.05g/Nm³以下:1時間平均)^{※1}に適合していた。

※1 協定値(「北九州ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業に係る環境保全に関する協定書」の排出管理目標値)

※2 北九州PCB廃棄物処理施設(1期)に係る生活環境調査において当該施設から排出されるベンゼンの最大濃度

1期施設(1G1、1G2、1G4～7)

洗浄排気1(1G1)

試料採取日		PCB (mg/Nm ³)	ダイオキシン類 (ng-TEQ/Nm ³)
24 年 度	平成24年5月15日	0.00036	
	平成24年8月2日	0.00077	0.024
	平成24年11月15日	0.000050	
	平成25年2月13日	不検出 ^{※1}	0.000072
25 年 度	平成25年5月20日	0.000043	
	平成25年8月1日	0.00018	0.00080
	平成25年11月14日	0.000010	
基準等		0.01	0.1

※1 定量下限値は0.000010mg/Nm³

洗浄排気2(1G2)

試料採取日		PCB (mg/Nm ³)	ダイオキシン類 (ng-TEQ/Nm ³)
24 年 度	平成24年5月15日	不検出 ^{※1}	
	平成24年8月2日	不検出 ^{※1}	0.0000041
	平成24年11月15日	不検出 ^{※1}	
	平成25年2月13日	不検出 ^{※1}	0.000018
25 年 度	平成25年5月20日	不検出 ^{※1}	
	平成25年8月1日	0.000024	0.000022
	平成25年11月14日	不検出 ^{※1}	
基準等		0.01	0.1

※1 定量下限値は0.000010mg/Nm³

液処理系排気1(1G4)

試料採取日		PCB (mg/Nm ³)	ダイオキシン類 (ng-TEQ/Nm ³)	ベンゼン (mg/Nm ³)
24 年度	平成24年5月14日	0.000027		
	平成24年8月3日	0.000023	0.0037	不検出※ ²
	平成24年11月16日	不検出※ ¹		
	平成25年2月14日	0.000015	0.0025	不検出※ ²
25 年度	平成25年5月21日	0.000047		
	平成25年8月2日	0.000043	0.0094	不検出※ ²
	平成25年11月15日	不検出※ ¹		不検出※ ²
基準等		0.01	0.1	50

※1 定量下限値は0.000010mg/Nm³

※2 定量下限値は1mg/Nm³

液処理系排気2(1G5)

試料採取日		PCB (mg/Nm ³)	ダイオキシン類 (ng-TEQ/Nm ³)	ベンゼン (mg/Nm ³)
24 年度	平成24年5月14日	不検出※ ¹		
	平成24年8月3日	不検出※ ¹	0.00095	不検出※ ²
	平成24年11月16日	不検出※ ¹		
	平成25年2月14日	0.000013	0.0000028	不検出※ ²
25 年度	平成25年5月21日	不検出※ ¹		
	平成25年8月2日	不検出※ ¹	0.0000049	5
	平成25年11月15日	不検出※ ¹		不検出※ ²
基準等		0.01	0.1	50

※1 定量下限値は0.000010mg/Nm³

※2 定量下限値は1mg/Nm³

換気(1G6)

試料採取日		PCB (mg/Nm ³)	ダイオキシン類 (ng-TEQ/Nm ³)	ベンゼン (mg/Nm ³)
24 年 度	平成24年5月15日	不検出※ ¹		
	平成24年8月2日	0.00021	0.00085	不検出※ ²
	平成24年11月15日	0.000026		
	平成25年2月14日	0.00043	0.013	不検出※ ²
25 年 度	平成25年5月21日	不検出※ ¹		
	平成25年8月1日	0.00013	0.034	不検出※ ²
	平成25年11月14日	不検出※ ¹		
基準等		0.01	0.1	50

※1 定量下限値は0.000010mg/Nm³※2 定量下限値は1mg/Nm³

分析室排気(1G7)

試料採取日		PCB (mg/Nm ³)	ダイオキシン類 (ng-TEQ/Nm ³)
24 年 度	平成24年5月14日	不検出※ ¹	
	平成24年8月1日	不検出※ ¹	0.00015
	平成24年11月16日	不検出※ ¹	
	平成25年2月13日	不検出※ ¹	0.0000020
25 年 度	平成25年5月20日	不検出※ ¹	
	平成25年8月2日	不検出※ ¹	0.000038
	平成25年11月15日	不検出※ ¹	
基準等		0.01	0.1

※1 定量下限値は0.000010mg/Nm³

2期施設(2G1～9)

特殊解体室排気(2G1)

試料採取日		PCB (mg/Nm ³)	ダイオキシン類 (ng-TEQ/Nm ³)
24 年度	平成24年4月12日	0.000059	
	平成24年7月5日	不検出※1	0.000049
	平成24年10月12日	不検出※1	
	平成25年1月10日	不検出※1	0.0000087
25 年度	平成25年4月16日	不検出※1	
	平成25年7月10日	不検出※1	0.0000066
	平成25年9月12日	不検出※1	
基準等		0.01	0.1

※1 定量下限値は0.000010mg/Nm³

中間処理排気(2G2)

試料採取日		PCB (mg/Nm ³)	ダイオキシン類 (ng-TEQ/Nm ³)
24 年度	平成24年4月10日	不検出※1	
	平成24年7月6日	不検出※1	0.000055
	平成24年10月10日	不検出※1	
	平成25年1月10日	不検出※1	0.000027
25 年度	平成25年4月18日	0.000014	
	平成25年7月11日	不検出※1	0.000028
	平成25年9月10日	不検出※1	
基準等		0.01	0.1

※1 定量下限値は0.000010mg/Nm³

真空加熱分離排気(2G3)

試料採取日		PCB (mg/Nm ³)	ダイオキシン類 (ng-TEQ/Nm ³)	ベンゼン (mg/Nm ³)
24 年度	平成24年4月20日	不検出※ ¹		
	平成24年7月25日	不検出※ ¹	0.0000030	不検出※ ²
	平成24年10月16日	不検出※ ¹		
	平成25年1月17日	不検出※ ¹	0.0000022	不検出※ ²
25 年度	平成25年4月25日	不検出※ ¹		
	平成25年7月10日	不検出※ ¹	0.0020	4
	平成25年9月10日	不検出※ ¹		
基準等		0.01	0.1	50

※1 定量下限値は0.000010mg/Nm³

※2 定量下限値は1mg/Nm³

液処理系排気1(2G4)

試料採取日		PCB (mg/Nm ³)	ダイオキシン類 (ng-TEQ/Nm ³)	ベンゼン (mg/Nm ³)
24 年度	平成24年4月13日	不検出※ ¹		
	平成24年7月4日	0.000015	0.000038	不検出※ ²
	平成24年10月11日	不検出※ ¹		
	平成25年1月17日	不検出※ ¹	0.000013	1
25 年度	平成25年4月18日	不検出※ ¹		
	平成25年7月11日	不検出※ ¹	0.000017	不検出※ ²
	平成25年9月12日	不検出※ ¹		
基準等		0.01	0.1	50

※1 定量下限値は0.000010mg/Nm³

※2 定量下限値は1mg/Nm³

液処理系排気2(2G5)

試料採取日		PCB (mg/Nm ³)	ダイオキシン類 (ng-TEQ/Nm ³)	ベンゼン (mg/Nm ³)
24 年度	平成24年4月13日	不検出※ ¹		
	平成24年7月4日	不検出※ ¹	0.0000087	2
	平成24年10月11日	不検出※ ¹		
	平成25年1月17日	不検出※ ¹	0.0000025	不検出※ ²
25 年度	平成25年4月18日	不検出※ ¹		
	平成25年7月9日	不検出※ ¹	0.0000018	4
	平成25年9月12日	不検出※ ¹		
基準等		0.01	0.1	50

※1 定量下限値は0.000010mg/Nm³

※2 定量下限値は1mg/Nm³

液処理系排気3(2G6) これまで運転実績はありません。

プラズマ排気(2G7-1)

試料採取日		PCB (mg/Nm ³)	ダイオキシン類 (ng-TEQ/Nm ³)	硫黄酸化物 K値	窒素酸化物 ppm	塩化水素 ppm	ばいじん g/Nm ³
24 年度	平成24年4月12日	不検出※ ¹					
	平成24年7月5日	不検出※ ¹	0	不検出※ ²	32	不検出※ ³	不検出※ ⁴
	平成24年10月19日	不検出※ ¹					
	平成25年1月11日	不検出※ ¹	0.0000050	不検出※ ²	84	不検出※ ³	不検出※ ⁴
25 年度	平成25年6月13日	不検出※ ¹	0.00025	不検出※ ²	32	不検出※ ³	不検出※ ⁴
	平成25年9月13日	不検出※ ¹					
	平成25年12月3日	不検出※ ¹	0.00000048	不検出※ ²	32	不検出※ ³	不検出※ ⁴
基準等		0.01	0.1	K値=1	230	250	0.05

プラズマ排気(2G7-2)

試料採取日		PCB (mg/Nm ³)	ダイオキシン類 (ng-TEQ/Nm ³)	硫黄酸化物 K値	窒素酸化物 ppm	塩化水素 ppm	ばいじん g/Nm ³
24 年度	平成24年4月13日	不検出※ ¹					
	平成24年5月15日	不検出※ ¹					
	平成24年6月6日	不検出※ ¹					
	平成24年7月3日	不検出※ ¹	0	不検出※ ²	31	不検出※ ³	不検出※ ⁴
	平成24年9月20日	不検出※ ¹					
	平成24年10月9日	不検出※ ¹					
	平成24年12月17日	不検出※ ¹	0.00000045	不検出※ ²	30	不検出※ ³	不検出※ ⁴
	平成25年3月1日	不検出※ ¹					
25 年度	平成25年6月6日	不検出※ ¹	0.013	不検出※ ²	31	不検出※ ³	不検出※ ⁴
	平成25年9月10日	不検出※ ¹					
	平成25年12月4日	不検出※ ¹	0.00000060	不検出※ ²	25	不検出※ ³	不検出※ ⁴
基準等		0.01	0.1	K値=1	230	250	0.05

プラズマ排気(2G7-1、2)の注釈

※1 定量下限値は0.000010mg/Nm³

※2 定量下限値はK値=0.0044

※3 定量下限値は1ppm

※4 定量下限値は0.001g/Nm³

換気(2G8)

試料採取日		PCB (mg/Nm ³)	ダイオキシン類 (ng-TEQ/Nm ³)
24 年度	平成24年4月10日	不検出※ ¹	
	平成24年7月5日	不検出※ ¹	0.0000015
	平成24年10月12日	不検出※ ¹	
	平成25年1月11日	不検出※ ¹	0.0000027
25 年度	平成25年4月15日	不検出※ ¹	
	平成25年7月10日	不検出※ ¹	0.0000061
	平成25年9月9日	不検出※ ¹	
基準等		0.01	0.1

※1 定量下限値は0.000010mg/Nm³

分析室排気(2G9)

試料採取日		PCB (mg/Nm ³)	ダイオキシン類 (ng-TEQ/Nm ³)
24 年度	平成24年4月12日	不検出※ ¹	
	平成24年7月5日	不検出※ ¹	0
	平成24年10月12日	不検出※ ¹	
	平成25年1月11日	不検出※ ¹	0.0000024
25 年度	平成25年4月15日	不検出※ ¹	
	平成25年7月9日	不検出※ ¹	0.000040
	平成25年9月9日	不検出※ ¹	
基準等		0.01	0.1

※1 定量下限値は0.000010mg/Nm³

2. 排 水

- ① PCB 基準(0.003mg/L以下)に適合していた。

試料採取日		PCB (mg/L)
24 年度	平成24年8月3日	不検出 ^{※1}
	平成25年2月14日	不検出 ^{※1}
25 年度	平成25年8月2日	不検出 ^{※1}
	平成26年2月実施を予定	——
基準等		0.003

※1 定量下限値は0.0005mg/L

3. 雨 水

- ① PCB 基準(0.003mg/L以下)に適合していた。
 ② ダイオキシン類 基準(10pg-TEQ/L以下)に適合していた。

試料採取日		PCB (mg/L)	ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)
24 年度	平成24年7月3日	不検出 ^{※1}	0.45
25 年度	平成25年7月4日	不検出 ^{※1}	0.33
基準等		0.003	10

※1 定量下限値は0.0005mg/L

4. 悪 臭

- ① アセトアルデヒド 平成26年2月実施予定
 ② トルエン 平成26年2月実施予定
 ③ キシレン 平成26年2月実施予定

試料採取日		地点名 (サンプリング箇所)	アセトアルデヒド (ppm)	トルエン (ppm)	キシレン (ppm)
24 年度	平成25年1月23日	風上	不検出※ ¹	不検出※ ²	不検出※ ³
		風下	不検出※ ¹	不検出※ ²	不検出※ ³
25 年度	平成26年2月実施を予定	――	――	――	――
		――	――	――	――
基準等			0.05	10	1

※1 定量下限値は0.005ppm

※2 定量下限値は1ppm

※3 定量下限値は0.1ppm

5. 騒 音

- ① 騒音レベル 平成26年2月実施予定

測定日		騒音レベル dB(A)
24 年度	平成25年 2月22～23日	≤62(≤62)
25 年度	平成26年2月実施を予定	——
基準等		≤70(≤65)

【事業地 位置図】

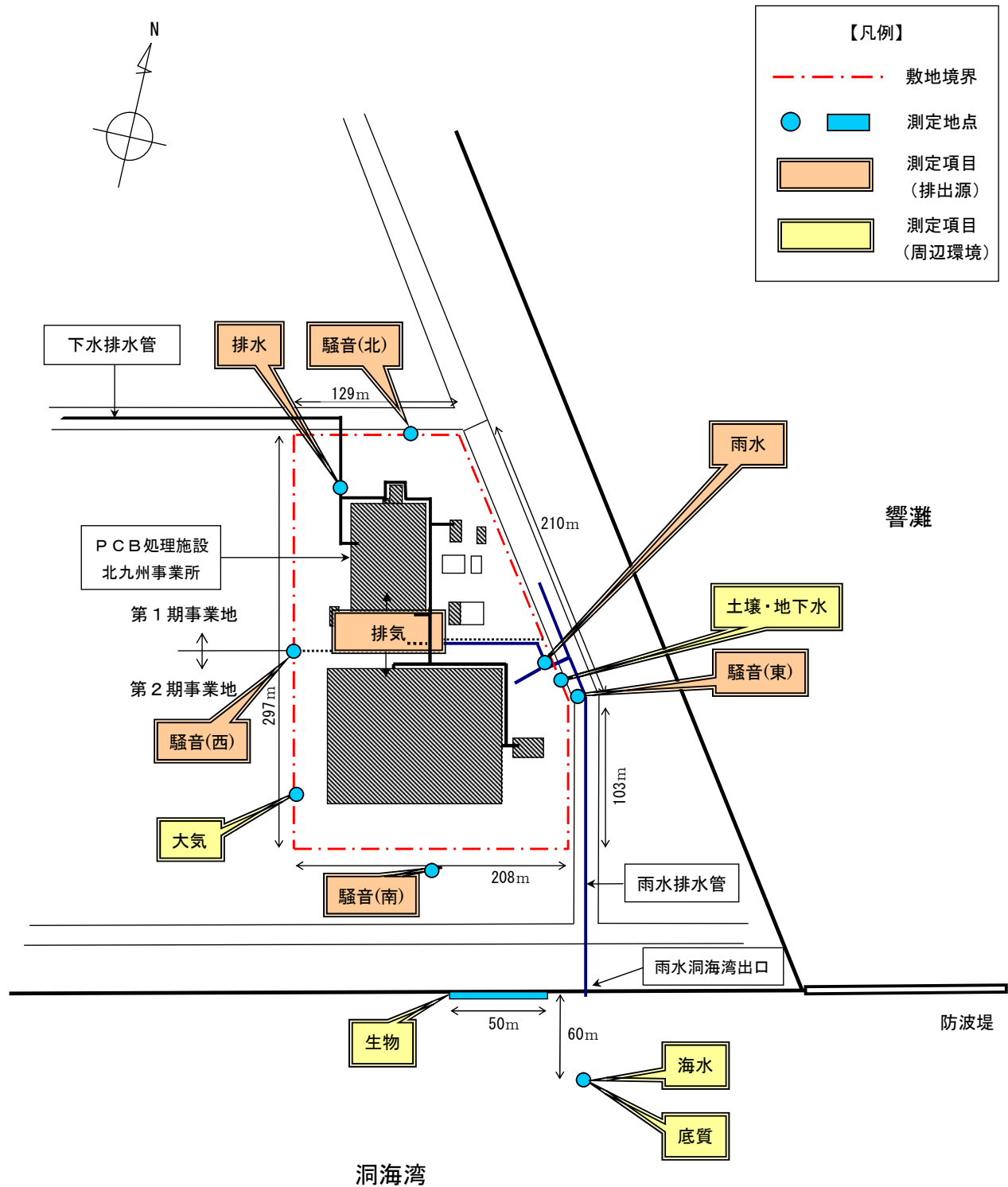


【付近見取図】



北九州ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業

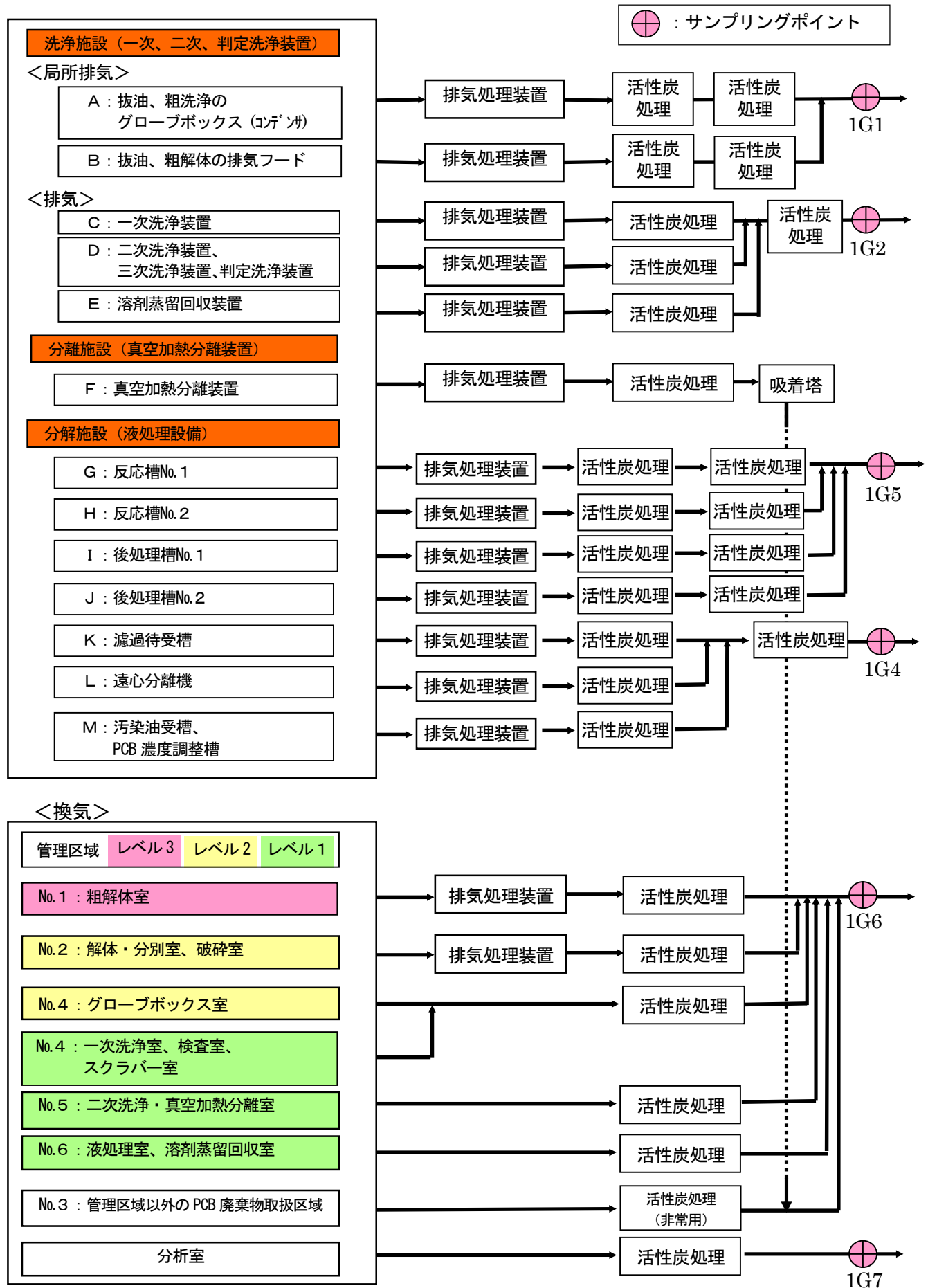
環境モニタリング調査地点図



悪臭

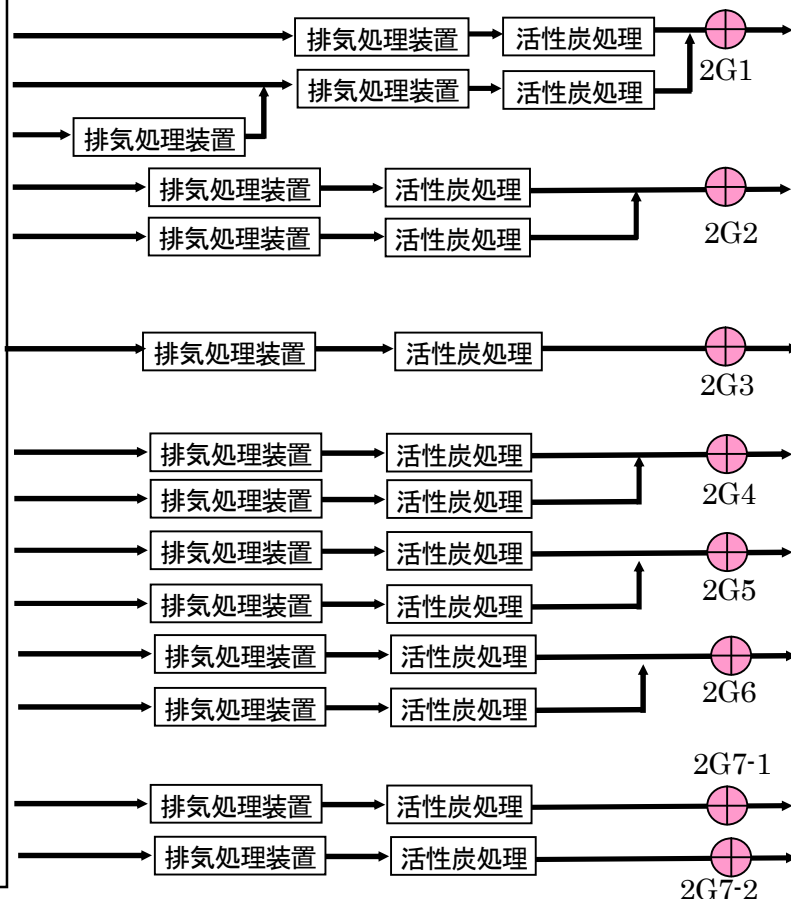
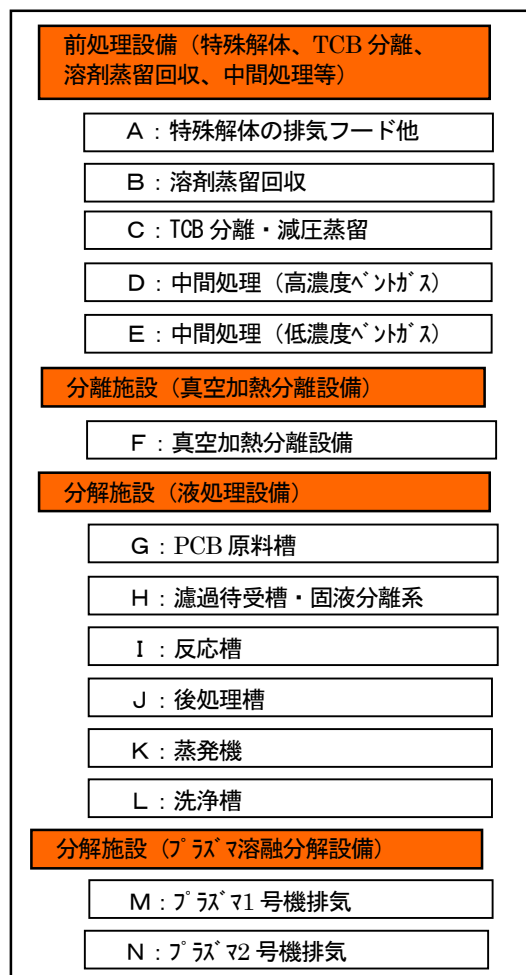
悪臭は測定日当日の風上と風下でサンプリングします。

サンプリング箇所（1期施設）

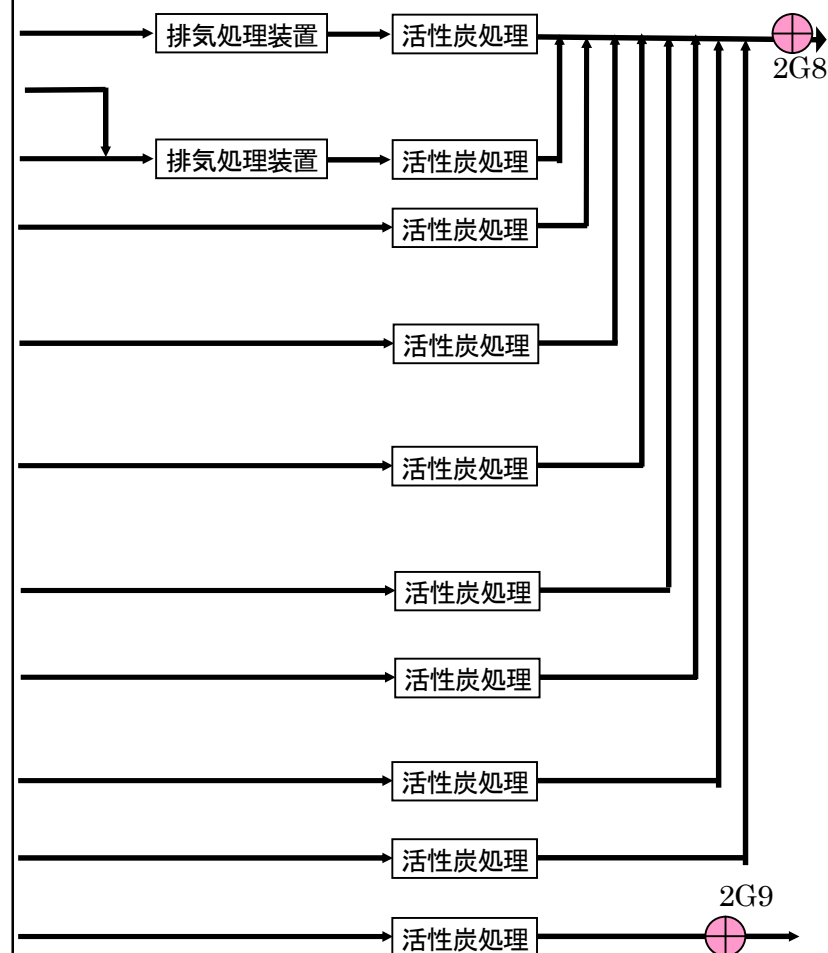
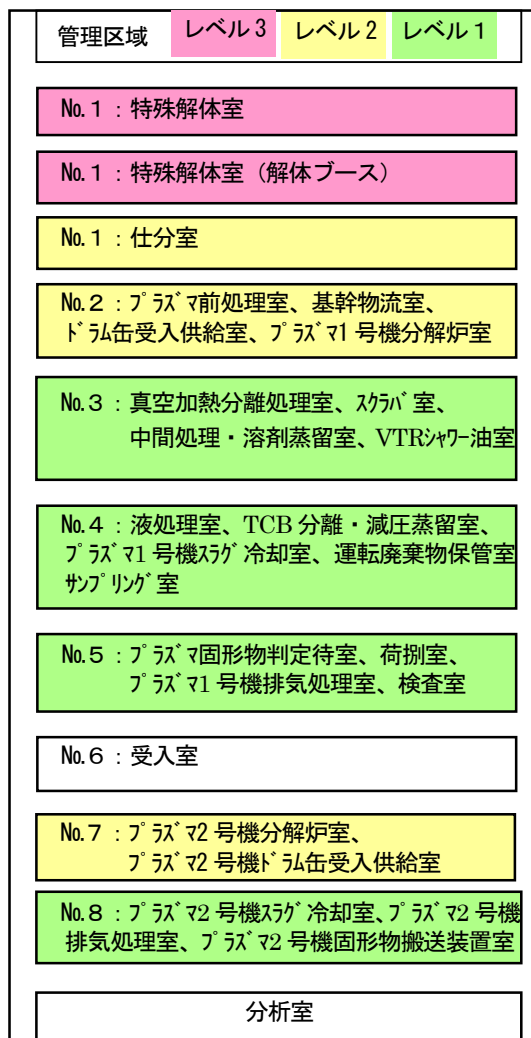


排気測定サンプリング箇所（２期施設）

⊕ : サンプルングポイント



<換気>



環境モニタリング計画

策定 平成15年6月16日
最終変更 平成24年12月3日
日本環境安全事業株式会社

＜排出源（1期施設）＞

要素	地点	項目	頻度	協定値等（右欄は数値の引用元を示す）	
排気	排気出口（5カ所）	PCB	1年に4回	0.01mg/m ³ N以下	協定値
	換気出口（1カ所）	ダイオキシン類	1年に2回	0.1ng-TEQ/m ³ N以下	協定値および法規制値
	上記排気出口のうち 換気出口（1カ所） 液処理系統（2カ所）	ベンゼン	1年に2回	_____	_____

＜排出源（2期施設）＞

要素	地点	項目	頻度	協定値等（右欄は数値の引用元を示す）	
排気	排気出口（9カ所）	PCB	1年に4回 ^{（注1）}	0.01mg/m ³ N以下	協定値
	換気出口（1カ所）	ダイオキシン類	1年に2回	0.1ng-TEQ/m ³ N以下	協定値および法規制値
	上記排気出口のうち 真空加熱分離系統（1カ所） 液処理系統（3カ所）	ベンゼン	1年に2回	_____	_____
	上記排気出口のうち プラズマ溶融分解系統（2カ所）	いおう酸化物	1年に2回	K値＝1以下 ^{（注2）}	協定値
		窒素酸化物		230ppm以下 ^{（注2）}	
		塩化水素		250ppm以下 ^{（注2）}	
		ばいじん		0.05g/Nm ³ 以下 ^{（注2）}	

＜排出源（1期・2期施設共通）＞

要素	地点	項目	頻度	協定値等（右欄は数値の引用元を示す）	
排水	下水排水渠（1カ所）	PCB	1年に2回	0.003mg/L以下	法規制値
雨水	敷地出口（1カ所）	PCB	1年に1回	0.003mg/L以下	
		ダイオキシン類		10pg-TEQ/L以下	
悪臭	敷地境界 （風上風下2カ所）	アセトアルデヒド	1年に1回	0.05ppm以下	
		トルエン		10ppm以下	
		キシレン		1ppm以下	
騒音	敷地境界（東西南北4カ所）	騒音レベル	1年に1回	70db (A) 以下 夜間65db (A) 以下	

＜周辺環境＞平成19年4月から実施

要素	地点	項目	頻度	（参考）環境基準値等
大気 ^{（注3）}	敷地南西端（1カ所）	PCB	1年に4回	0.0005mg/m ³
		ダイオキシン類		0.6pg-TEQ/m ³
		ベンゼン		0.012mg/m ³
水質 （海水）	雨水洞海湾出口沖（1カ所）	PCB	1年に2回	検出されないこと ^{（注4）}
		ダイオキシン類		1pg-TEQ/L
地下水	雨水敷地出口付近（1カ所）	PCB	1年に1回	検出されないこと ^{（注4）}
		ダイオキシン類		1pg-TEQ/L
土壌	雨水敷地出口付近（1カ所）	PCB	1年に1回	検出されないこと ^{（注4）}
		ダイオキシン類		1000pg-TEQ/g
底質	雨水洞海湾出口付近（1カ所）	PCB	1年に1回	_____
		ダイオキシン類		150pg-TEQ/g
生物 ^{（注5）}	雨水洞海湾出口付近（1カ所）	PCB	1年に1回	_____
		ダイオキシン類		_____

（注1：プラズマ溶融分解炉2号機については、営業運転開始後半年間は毎月、その後半年間は2か月に1回実施
ただし、処理の状況により頻度は変更になることがある

（注2：1時間平均値

（注3：大気的环境基準は工業専用地域では適用されない

（注4：検出限界値は0.0005mg/L

（注5：調査対象はムラサキインコガイまたはカメノテ

大気環境中ベンゼンの環境保全目標値超過について

平成 25 年 8 月 1～2 日に採取した大気環境中のベンゼン濃度が 0.055mg/m^3 と環境保全目標値 (0.012mg/m^3) を超過しましたので、当事業所のベンゼン発生源の影響によるものかどうか以下のとおり考察しました。

1 ベンゼン発生源

当事業所の発生源としては、液処理施設と真空加熱分離処理施設が該当し、定期的に排気中のベンゼン濃度を測定している。2 期施設操業後これまでのベンゼン濃度は、不検出～ 5mg/m^3 (管理目標値： 50mg/m^3) で推移している。

2 測定当日の状況

(1) 処理施設運転状況等

① 1 期施設

液処理施設通常稼働、真空加熱分離施設停止中

液処理施設排気中ベンゼン濃度測定実施 (1 G4: 不検出、1 G5: 5mg/m^3)

② 2 期施設

液処理施設通常稼働、真空加熱分離施設停止中

液処理施設排気中ベンゼン濃度測定未実施

(2) 処理施設からの環境影響予測 (生活環境影響調査に基づく拡散予測方法)

① 1 期施設

ベンゼン濃度測定結果から予測すると測定点濃度は $0.00087 \times 10^{-3} \text{ mg/m}^3$ となる。

② 2 期施設

測定未実施のため、管理目標値 (50mg/m^3) の排気が排出された想定で予測すると測定点濃度は $0.008 \times 10^{-3} \text{ mg/m}^3$ となる。

3 追跡調査

環境保全目標値超過後、大気環境中等のベンゼン濃度を追跡調査のため測定した。その結果を下表に示す。

単位 (mg/m^3)

項目 \ 測定日	10 月 15～16 日	11 月 14～15 日
大気環境中ベンゼン	0.00060	0.0094
排気中ベンゼン	未測定	1 G4: 不検出
		1 G5: 不検出
		2 期施設停止中

4 考察結果

2 で環境保全目標値超過当時の運転状況及び環境影響予測について述べたように、当事業所の処理施設からの大気環境中ベンゼン濃度への影響は極めて小さいと推察される。さらに、3 の追跡調査でも、当事業所の影響は全くないことが実証されたと判断できる。